



中小企業の明日を支える人材が集まる 中小企業支援士協会報

発行：中小企業支援士協会2026年3月2日（月2回発行通番第106号）

りくりゅうペアの金メダルから学べたこと

皆さんこんにちは、中小企業支援士協会代表 落藤伸夫です。中小企業を支える皆さんにメッセージをお送りします。

日本選手団が最多となる24個のメダルを獲得したミラノ・コルティナオリンピックが2月22日、閉幕しました。今回のオリンピックはこれまで以上にドラマが多かったと感じます。今回はその中でも、フィギュアスケートペアのフリースケーティング(FS)で日本初となる金メダルを獲得した“りくりゅう”こと三浦璃来さんと木原龍一の活躍について考えてみます。

二人は前日の演技で得意のリフトを失敗して大減速、5位に後退してしまい、大きなプレッシャーに悩まされていました。それでも翌日のファイナルでは圧巻の演技で世界歴代最高得点をマーク、頂点に立ちました。二人はどうしてこのような勝利を得ることができたのか？第1は諦めるなかったからです。前日の大きなミスにもめげず、当日は力を出し切ることに集中しました。第2は、彼らがペアだったからだと思います。彼らにとってパートナーがいる中で出す「全力」は、1人で出す「全力」よりもずっと大きかったようです。「パートナーを悲しませるわけにはいかない」などの考えが原動力となって、普通を超える力が発揮できるのではないかと思います。

私たち専門家が伴走支援するのも、経営者が諦めず、普通でない力を発揮できるようにするためです。中には「一人で頑張るのが効率的」という経営者もいますが、そのような経営者でも専門家に伴走支援してもらうことで考えが広がり、深くなり、モチベーションが高まることあるようです。パートナーへの信頼が深くなるほど、その力は大きくなります。信頼されるパートナーを日々、目指していきたいと考えています(代表:落藤伸夫)

協会活動報告

【未梱コラム】前提が覆る時代に生き残る方法 (2026/2/2)
<https://www.innovations-i.com/column/ctf/84.html>

【未梱コラム】前提が転覆する可能性に備える (2026/2/9)
<https://www.innovations-i.com/column/ctf/85.html>

【事業性評価支援士協会note】<https://note.com/financing>

支援雑感

時間を適切に見計らう

昨年10月に高市政権が発足して4ヶ月。特別国会もスタートして政治日程が明らかになってきました。消費税減税は令和8年度当初予算から実施ではなく、秋の国会で審議が始まる予定とのこと。早々に減税が始まると期待していた国民には、肩透かしと映ったかもしれません。一方で、消費税減税に必要な手続きを考えると、これでも最速だろうと考えます。いくつもある手法の中から最適なものを選び、複雑な立法手続きを経る必要があるからです。

企業経営を行う中、自分が考える時間軸と実際の時間軸とがずれてしまい、思ったタイミングで成果が得られない場合があります。こうならないためには2つ、早めに対応することと、現実がついてくるまでの体力をキープしておくことがポイントです。不調な企業の経営者は「正念場になったら頑張る」と考えていることが多いようですが、少なからぬケースで出遅れています。支援者としては時間を読み間違えないよう、支援したいと考えます。

読書感想

「まちで闘う方法論」 (木下 斉)

この本はタイトルに惹かれて手に取りました。著者が地方活性化で活躍していることは知っていたので「街で乱闘をする」を意味しないことは理解していましたが「闘う」語にインパクトがあり、その意味を知りたくなったのです。地域活性化を目指すときに遭遇する闘いとして筆者は「過去の常識」や「法律制度」、「事業」そして「折れそうになる自分」との闘いを挙げていました。

なぜ闘いになるのか？「補助金をもらい、地域が活性化しそうな取組をする」ことなら、それはたぶん和気あいあいになるでしょう。一方で筆者は「稼ぐこと」を意味しているので闘いと言います。

「筆者の言う『地域活性化とは稼ぐこと』に違和感はない。なぜ闘いになるのか？」本書では、高校生から地域活性に取り組んできた経験をもとに丁寧に説明した上で、必要な考え方や活動・事業、それを行うための技術などまでポイントをまとめて説明しています。地域活性というと、成功事例を中心とした読み物が多い中、本書はもう一歩踏み込んだ、舞台裏まで見せてくれる内容で、実地支援を考える専門家には必読の良書だと感じました。

発行者：中小企業支援士協会

Small and medium Business Supporters Association

参加団体：事業性評価支援士協会

(中小企業支援士事務所StrateCutions内)

連絡先：info@besa-sc.com (担当者) 落藤伸夫